

令和2年度病害虫発生予察指導情報

(ナシ・ハダニ類)

令和2年12月24日
鳥取県病害虫防除所

1. 情報の内容

- (1) 県内巡回定点におけるカンザワハダニの越冬量は、1バンドあたり平均0.4頭（平成：5.4頭）で、平年に比べてやや少ない。
- (2) ナミハダニの越冬量は、1バンドあたり0.0頭（平成：0.1頭）で、平年に比べてやや少ない。
- (3) クワオオハダニの越冬卵数は1短果枝当たり0.3個（平成：1.1個）で、平年に比べてやや少ない。

表1 ナシにおけるハダニ類の越冬量

調査地点	カンザワハダニ（成虫）*			ナミハダニ（成虫）*			クワオオハダニ（越冬卵）			
	本年	前年	平成**	本年	前年	平成**	本年	前年	平成**	
東部	鳥取市 佐治町	—***	0	0	—***	0	0	—***	0	0.5
	鳥取市 青谷町****	0	0	0	0	0	0	2.1	0	0.3
	八頭町	0.3	0	38.7	0	0	0.4	0	0	0.5
中部	倉吉市 中野	0.5	0	0.0	0	0	0	0	0	0.0
	湯梨浜町 別所	2.5	0	0.8	0	0	0.1	0	0	2.1
	北栄町 由良宿	0	0	0.0	0.2	0	0	0	0	1.4
	琴浦町 竹ノ内	0	0	9.3	0	0	0	0	0	1.4
西部	大山町 松河原****	0	0	0	0	0	0	0	0	0.9
	南部町 朝金	0	0	0	0	0	0	0	0	2.9
県平均		0.4	0	5.4	0.0	0	0.1	0.3	0	1.1

*：カンザワハダニ、ナミハダニはバンドを回収後、恒温器室内（23℃設定）で3週間程度観察し、種類を判断した。

**：平年はH22～R1の平均値

***：調査園伐採のため中止

****：令和元年度調査地点変更（平年値は変更前の調査地点の値を示す）

調査方法：9月下旬に紙バンドをほ場に設置。園あたり6バンド（1樹3バンド、2樹設置）。
12月上旬に紙バンドを回収後、バンドあたりのカンザワハダニ及びナミハダニ越冬個体数を調査。同時に園あたり40短果枝を採取し、短果枝あたりのクワオオハダニ越冬卵数を調査。

2. 防除上注意すべき事項

秋期にハダニ類の発生量が多かった園では、越冬量が多いと予想されるため、休眠期の防除を徹底する。カンザワハダニ及びナミハダニには（1）～（3）、クワオオハダニには（3）が有効である。

（1）誘殺バンドの取りはずし

主枝や垂主枝に誘殺バンドを設置している園では、12～2月にバンドを取りはずして処分する。

（2）粗皮削り

12～2月に、カンザワハダニやナミハダニの越冬場所である粗皮を削り取る。特に、誘殺バンドを巻き付けた部分の粗皮は必ず削り取っておく。

（3）薬剤散布

3月中旬に、マシン油97%乳剤（ハーベストオイル）50～100倍液を散布する。